

「日本語を母語としない子と親のための 高校進学ガイダンス」

7月29日、静岡市教育委員会との共催で「日本語を母語としない子と親のための高校進学ガイダンス」を開催しました。

「高校進学ガイダンス」は13回目の開催となりますが、今回のガイダンスではまず始めに、教育委員会の担当者より「入試概要」等の説明があり、その後城南静岡高校の学校紹介がありました。ペルー人とベトナム人の先輩高校生による体験談では、「中学校の段階で将来自分が何をしたいのか、はっきりした目標を持つ事がとても大事」とのアドバイスがあり、高校で学ぶことの必要性を強く感じさせる内容でした。

参加者は、21世帯33人で、そのうち中国人親子が5組でした。これは今までで一番多い人数で、さらにこれまでは日本人と中国人の国際結婚家庭の子どもが多かったのが、今回は、両親共に中国人家庭が目立ちました。そのため、日本の情報が得にくい環境にあり、初めて耳にする日本の高校制度について驚く人もいました。例えば、中国では義務教育終了後、ほとんどの生徒が公立高校に進学します。高校の数が多く、日本より進路選択の幅が広いからです。一方、中国には定時制や職業高校などはありません。参加した保護者からは、ガイダンスで色々な情報を得ることができ、今後子どもの高校進路への意識を高める良い機会になったとの感想が寄せられました。

一人っ子政策が終わりを告げた中国ですが、今後も子どもの教育熱は下がることはないでしょう。この「高校進学ガイダンス」が日本語を母語としない子どもたちの将来設計に少しでも役立てばと願っています。
(文 静岡市国際交流協会 中国相談員 王甌迦)



<日本語を母語としない子と親のための高校進学ガイダンス>

日 時：29年7月29日（土） 13:30～15:30

会 場：静岡市役所清水庁舎 313会議室

内 容：入試説明、高校紹介、先輩による体験談、質疑応答など

参加人数：33人（21家族）

（内訳）フィリピン 9人 中国 8人 日本 5人 ブラジル 4人

ペルー 3人 タイ 3人 スリランカ 1人

主 催：静岡市教育委員会

共 催：静岡市国際交流協会